



会報シルバー

たからづか

第 146 号

平成29年7月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040



宝塚の風物

行基の投げ石(抛げ石)

(山本西二丁目・天満神社境内)

行基は奈良時代の僧で畿内を中心に諸国を巡り、民衆教化や橋梁架設などの社会事業を行い、後に行基菩薩と称された。ある時行基がこの地を通り掛り道をふさいでいた石を杖で投げ飛ばしたと伝えられている。行基の高徳ぶりがうかがえる伝承である。

(撮影・広報委員/長谷川 克己)

平成29年度定時総会

公益社団法人
宝塚市シルバー人材センター

理事長 古村 宏太郎



平成29年度
の公益社団法人
宝塚市シルバー
人材センター定
時総会を開催いたしましたところ、

会員の皆様には、何かとご多忙の中、このように多数のご出席をいただき誠にありがとうございました。また、ご来賓としてお越しいただきました、阪神北県民局の村上局長様には、公務ご多忙のところ万障お繰り合わせの上、ご臨席を賜り、まことにありがとうございました。

ご来賓様には、平素から、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の支えなどを推進することを目的とするシルバー人材センターの運営に格段のご理解とご支援をいただい

ておりますことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国では、人口減少社会において、持続可能な行財政構造を構築するには、社会の担い手を増やすことが不可欠で、高齢者のさらなる就労が不可欠とされています。定年引上げに向けた国の施策に加え、兵庫県でも高齢者の就業機会創出に向けた各種事業を展開されています。また、元氣な高齢者の社会参加を、様々な側面から総合的に推進し、人口減少社会下でも活力ある兵庫の実現に取り組むとされています。

そうした中であって、当センターにあつては、永年にわたって特命随意契約で受託してきました市立自転車駐車場の指定管理業務が、公募による指定管理者選考に移行されたため、プレゼンテーション等選考の結果、民間事業者が受託することとなり、その結果、250人以上の会員の就業機会を失うこととなり、今後のセンター事業の運営に重大な影響を及ぼすこと

となりました。

しかし、当センターとしては今後も公益社団法人として、より一層、公益性に配慮した事業運営に加えて、就業機会の拡大と新規入会者の増強を図るとともに、地域に密着した事業を推進するため、地区・地域班による地域貢献活動をはじめ、子育てへの支援事業や高齢者の生活援助サービス事業などの拡充・強化を図り力強い発展を目指してまいります。

また、会員互助会事業につきましては、会員の自立した組織運営のもと、センターの目的達成に向けて会員相互の親睦と連帯意識の高揚、福祉の増進を図るため、各種事業の効率的運営に努めてまいります。

なお、本日の総会には、各種議案及び報告事項等を上程いたしましたので、慎重審議のうえ、ご承認賜りますようお願いいたします。

結びにあたり、私たち公益社団法人宝塚市シルバー人材センター会員は、今後とも常に社会的責任を忘れることなく、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもとに「親切・丁寧・誠実」をモットーにしつつ安全就業を実施し、市民

の皆様方のますますの信頼と期待にこたえていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様方のますますのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

◆定時総会次第

5月30日(火)、13時より宝塚ホテルにて開催され、正会員数1,032名中、出席会員は179名、委任状595名、計774名が出席し、総会の成立が確認された。

総会は理事長挨拶の後、来賓として、兵庫県阪神北県民局局长村上元伸様よりご祝辞をいただいた。表彰では、永年役員、永年会員10年および20年表彰と会員特別表彰(ボランティア)が行なわれ、議事に入り報告事項、決議事項等原案どおり承認可決され終了した。なお、公務のためご出席いただけなかった中川智子市長様、北野聡子市議会議長様には鄭重なメッセージをいただいた。

ご来賓祝辞

兵庫県阪神北県民局

局長 村上 元伸



皆様こんにちは
は。本日は平成
29年度の宝塚
市シルバー人材

センター定時総会がこのように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、先ほど永年役員表彰、永年会員表彰、会員特別表彰を受賞されました皆様誠におめでとございます。

さて、我が国が少子高齢社会・人口減少社会を突き進み、さらに、東京一極集中が進む状況下において、地方がますます疲弊しかねないという局面に立っています。このため、今、全国をあげて地域の活力を作っていく地域創生、地方創生の取組みが進んでいます。

この兵庫県もすでに人口減少局面に入り、阪神北県民局管内4市1町を見ましても平成25年1月をピークに、すでに人口減少過

程をたどっております。地域を盛り上げていく取り組みが必要となつていきます。そのため、すべての方に元気に活躍いただき、社会参加をしていただく、そして活力を維持していくということが重要であります。

そのような中で女性や若者の活躍促進、またシニアの皆様のご活躍などいろいろと取組みが進められていますが、シルバー人材センターの会員の方はシルバー人材センターというチャネルを通じてご自身のご活躍、そして、子育てや高齢者支援といった地域密着型の分野の中で経験や知識を、あるいは技術を活かす、そのような取り組みをしていただいていることに改めて敬意を表する次第です。宝塚市シルバー人材センターは昭和57年設立と伺っています。この間、働く環境や社会進出の状況はいろいろと変化していますが、大きな変化のひとつは元気なお年寄りが増えたことだと思います。いつまでも現役で社会の中で活躍いただく、このことが極めて重要になってくるのではないかと考えています。

兵庫県ではいろいろな取り組みを進める中で社会環境の整備を整えております。阪神北県民局といたしましてはこの地域の元気づくりという観点で、人口対策および地域の元気づけという二本柱で地域創生の取組みを進めています。地域への人口対策として多くの人に住み続けていただき、また転入していただく。とりわけ、子育て層を中心にこの地域に住んでいただける方を増やしていく。そのためには子育てしやすい環境であること、あるいは住んで良かった、地域のコミュニティの厚みや暖かさを実感できる非常に住みやすい地域であることを実感していただく、そんなコミュニティ環境が必要であると考えています。

そういう点において皆様が日頃活動していただいている分野というのは、まさにそういう環境づくりに大きく寄与していただいているものと考えています。今後とも皆様方がお元気でこの活動をさらに展開していただくことによりまして「自主・自立、共働・共助」の理念の下、社会づくりに積極的に参加していただきたいと思います。

最後になりましたが、今後とも皆様の益々のご活躍、そして宝塚市シルバー人材センターの一層のご発展をご祈念いたしまして私のご挨拶とさせていただきます。

平成29年度 事業推進について

常務理事兼事務局長

本本 丈志



5月30日(火)
の定時総会には多数の会員の皆様のご出席をいただき、また上程いたしました各議案につきましては、すべて承認可決をいただき誠にありがとうございました。

平成29年度事業計画について報告いたします。

基本方針

平成29年度の事業推進の基本方針は、国が進める生涯現役社会の実現や宝塚市が進めているエイジフレンドリーシティ行動計画な

どにおいても、高齢者の雇用機会の創出が重要とされています。

一方、シルバー人材センターを取り巻く環境は大変厳しく、長年、受託してきた自転車駐車場の指定管理が公募による選考とされ、公益社団法人としての性格、民間との競合にはなじまないと訴えましたが、結果多くの会員の就業機会を失うことになりました。

このような状況下で、新たな取り組みとして、空き地・空き家管理事業が昨年、国の補助採択を受けました。今年度は更に拡充してまいります。また、介護予防・日常生活支援総合事業に参画するため、宝塚市社会福祉協議会との連携を図ってまいります。

また、市当局にも当センターの現状を説明し、自転車駐車場の指定管理に替わる就業機会の確保を求めてまいります。

重点施策と推進方針

○情報の収集と提供

あらゆる機会を通じて、センター事業に関する地域のニーズと関係機関等の情報収集に努め、適宜、迅速に会員に提供

して有効活用を図ります。

○就業調査と研究

引き続きお客様利用満足度調査を実施し、更なるサービスの向上を図ります。

○就業相談の実施

ハローワーク等の関係機関と連携した就業相談に取り組めます。

○就業機会の確保と提供

シルバーフェア、シルバーの日の開催等、各種イベントに参加し啓発に努めるほか、先に触れた「空き地・空き家管理事業」の拡充や「介護補助等高齢者活躍人材育成事業（サポート事業）」の参加促進に努めます。

○シルバー派遣事業及び職業紹介事業の実施

各事業については兵シ協と連携を図り、シルバー派遣事業では今年度の目標として2501人日以上を目指します。

○会員の資質と技術の向上

接遇研修、各種講習会を開催

すると共に技術・技能を伴う後継者の育成にも努めます。

○会員の拡大と確保

女性会員の増強が不可欠で女性部会設置の検討やゴールド会員制度の検討を始めます。

○安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を合言葉に安全委員会を核に組織を挙げて事故の防止と安全意識の高揚を図ります。

なお、先般募集した安全就業スローガン入選作品を兵シ協に推薦しましたところ、高地会員の安全標語が兵庫県最優秀賞に選ばれました。

○組織・財政基盤の強化と連携

公益法人として円滑且つ厳格な事業継続が求められており、より効果的な運営体制を構築するため、理事会の機能強化を図り計画的な予算執行に努める等合理的で効率的な運営に取組みます

最後に、シルバー人材センターが公益社団法人として、地域社会

からの期待に応えられるよう、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基に、公平・公正で適正な事業を推進し、より一層市民から愛され、信頼される魅力あるセンターづくりに努めてまいります。

◆表彰

◎永年役員表彰



▲永年役員表彰おめでとうございます

◎永年会員表彰(10年)



▲永年会員10年表彰おめでとうございます



▲会員特別表彰おめでとうございます

◎会員特別表彰(ボランティア)



▲永年会員20年表彰おめでとうございます

◎永年会員表彰(20年)

◆新任理事

平成29年度定時総会で役員(理事)が承認され、総会後の第2回理事会において、理事長、常務理事が選定されました。

(新:新任、再:再任)

理事長(再) 古村 宏太郎

常務理事(再) 木本 丈志

理事(再) 鶴原 澄子(互助会)

理事(再) 在本 茂

理事(再) 丸山 長資(地域班)

理事(再) 藤後 勝(安全)

理事(再) 長谷川 克己(広報)

理事(再) 竹内 英子(事業開拓)

理事(再) 土屋 智子

理事(新) 仲田 加代子(事業開拓)

安全委員会

◆4月～5月の事故内容

平成29年5月末現在

前年度	平成29年度	
1件	2件	損害
0件	0件	傷害

★損害事故2件

●内容…手除草作業中、作業会員の不注意により雑草以外の花卉(かき)類を切ってしまった。

●注意点…作業前に事前に打合わせ等を行い作業品目を確認しながら作業を実施すること。

●内容…植木剪定作業中、不要な樹木を撤去するために樹木の支柱を切り落とした際、樹木の支柱がバウンドし隣家の手摺と柵に当たり破損させた。

●注意点…作業の際は、周囲の環境(建物・人)を確認しながら作業を実施すること。

◆高齢者自転車競技大会

3連覇達成!

5月19日(金)、13時30分～16時30分、市立末広体育館および市立勤労市民センターで第13回宝塚市交通安全高齢者自転車競技大会が行われた。

当センターからは4名が「シル



▲3連覇を達成したシルバー安全チーム 矢田、浅沼、金築、丸尾の各会員、



▲安全運転の基本を守り忠実に

バー安全チーム」として参加。平素からの交通安全意識のもと競技に集中し、見事3連覇を達成した。
今後、本チームは9月28日(木)に開催される県大会に出場予定。
(安全委員会)

平成29年度 安全・適正就業強化月間

7月1日～31日の1ヶ月間は「安全・適正就業強化月間」です。「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」の全国統一安全スローガンを常に意識して事故の無いように安全就業に努めましょう。

◎実施目的

我が国の高齢化、少子化が益々急速に進展、且つ長期人口減少過程に入っておりシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待はより一層大きなものになっている中で安全就業中の事故が昨年に比して増加した。

このことを受けて、7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正について全ての会員、役職員が個人そして組織全体の問題として捉え事故の撲滅と受注および就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の一層の展開を図ることとする。

◎期間中の取り組み事項の概要

- ①安全・適正就業委員会を開催し、「安全・適正就業対策基本計画」の策定および事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
- ②重篤事故につながる就業の見直し
- ③ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因分析、事故防止の徹底
- ④就業途上における交通事故の防止
- ⑤安全就業対策の総点検の実施
- ⑥安全適正就業の研修および点検
- ⑦安全標語の募集
- ⑧会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- ⑨会員に対して安全意識啓発および情報の共有化を図るための資料等の配布
- ⑩月間中に「安全意識高揚の日」の設定および安全表彰の実施

◆安全宣言

6月16日(金)、開催された安全委員会において昨年に引き続き今年も事故ゼロを目指し「安全宣言」を提言した。

安全宣言

私たちは、公益社団法人宝塚市シルバー人材センターの会員として、「安全は全てに優先する」を最重要課題とし、全会員が一丸となって「事故ゼロ」を目指し、安全就業に努めることをここに宣言します。

一、事故から身を守るために必要な知識・技能を自ら身につけ、絶えず安全意識の高揚に努めます。

一、「安全の確保は自らの責務である」ことを自覚し、安全就業基準の遵守を徹底します。

一、日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます。

平成29年6月16日

公益社団法人宝塚市シルバー人材センター 安全委員会

地区・地域班活動

◆良元3の2地域班

「JR福知山線廃線跡」親睦ハイキング

5月16日(火)、9時30分～15時、絶好のハイキング日和。このコースは老若男女に高人気のスポットで大勢の人達で賑わっていた。当地域班から6名が参加、変化に富んだコースでやはり大分に足も痛んだものの気持ちは大いに晴れ、爽快な1日であった。

◆宝塚1の3地域班 清掃ボランティア

4月28日(金)、9時30分～11時、米谷地区・中国自動車道高架下、そしてその付近でペットボトル、空き缶、タバコの吸殻などの清掃および雑草取りのボランティアを行った。

好天・暑い日であったが5名が参加して、快い汗をかけた1日であった。

◆地域班総会開催状況

○良元2の1地域班

4月18日(火)、10時～11時
30分、シルバー人材センター会
議室にて、6名出席。

○良元2の2地域班

5月31日(水)、9時30分～10
時15分、市立西公民館にて、7
名出席。

○良元3の2地域班

4月18日(火)、10時30分～
11時45分、仁川会館第3会議
室にて、9名出席。

互助会だより

◆一喜会ゴルフコンペ

6月9日(金)、27名が参加して
宝塚高原ゴルフクラブで本年2回
目のゴルフコンペが行われた。
成績は次のとおりです。

優勝 山地 純一

第二位 瀬戸内 雄次郎

第三位 佐藤 文和

なお、次回は9月15日(金の予定
です。

事務局だより

◆淡路たまねぎを予約販売

淡路市シルバー人材センター
が生産した甘くて美味しい新たま
ねぎの予約を受付たところ800
kgの申込があり予定どおり販売す
ることができました。

◆学校給食食材供給

市内の中学校、小学校、養護学
校へ給食の食材供給を行いました。

◆ボランティアにご協力を

当センターでは年間を通して
行われる様々な行事にボランティ
アをお願いしています。

今号にサマーフェスタのボラ
ンティア募集案内を同封していま
すので、ご無理のない範囲でのご
協力をお願いします。

◆会員の状況

(入退会者は4月～5月、その他は
5月末)

会 員 数	1,029名
(男性会員数)	794名
(女性会員数)	235名
入会者数	21名
退会者数	97名
平均年齢	72.7歳

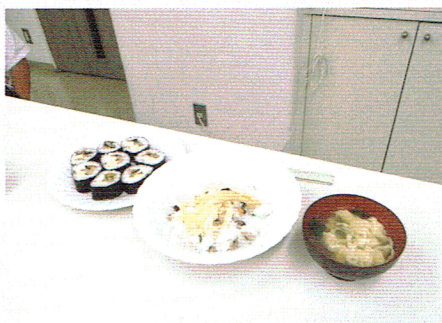
トライやる・ウィーク

今年も5月22日(月)、5月29日(月)
～6月1日(木)、市立教育総合センター3
階調理室にて公立中学校2年生の授業の
一環として行っている「トライやる・ウィ
ーク(職業体験学習)」が実施され、当セン
ターは2校18名の中学生を受け入れ料
理体験学習を行った。

センター会員4名の指導のもとレシピ
を参考に太巻き寿司、ちらし寿司、すまし
汁の3品を作った。互いに協力をしながら
作る楽しい体験学習であった。



▲料理体験学習の様子



▲完成した太巻き寿司、ちらし寿司、すまし汁

配 分 金

支払い日のお知らせ

7月就業分 8月15日(火)
8月就業分 9月15日(金)
9月就業分 10月13日(金)

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いいたします。

☆チラシ配布就業会員募集

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていますので、事務局窓口までお越しください。

会員のひろば

川 柳

若い頃女にころび今様に

富山 博彦

お財布が自由時間を支配する

織山 茂

俳 句

空に月地に夕顔の白さかな

川嶋 兼雄

真夜中のすみずみまでに夏の月

中嶋 諒子

冴え返る完成間近我が団地

西口 佐代子

バスを待つ声ソプラノの藍浴衣

橋本 千津子

ハミングの声やわらかし梅雨あがり

羽山 淳子

蜘蛛の囀に留まる雫や夏光る

丸山 長資

石路の道を迎れば行止まり

安井 修

初鳥や格子を舞台春の舞い

柳澤 義昭

編集後記

今年の定時総会で、永年会員表彰の皆さんに拍手をおくりながら、最近よく話題になる「健康寿命」のことを考えた。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のこと。厚生労働省が3年に1回、算定している。直近の都道府県別集計で、男女とも1位になったのが山梨県だ。(男性72.5歳、女性75.7歳)。兵庫県は残念ながら男性が42位、女性が44位と低い(男性70.6歳、女性73.3歳)。

▼山梨県がなぜ1位になったのか。県の推定では、①がん検診などの受診率が高く県民の健康意識も高い。②60歳以上の有業割合が全国2位と高く、元気に働き続けている高齢者が多い。③ボランティア活動などの意識が高く、また規則正しい食生活を維持している人が多い。などの分析が示されている。

▼この推定項目を見ると、②と③は我がシルバー人材センターの運営理念に近いとも言えそうだ。シルバー会員の健康寿命は、平均より高いに違いない。

(広報委員/佐野 純)

センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか？

シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日13時より開催していますので、事前予約の上ご参加ください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問い合わせください。

問合せ先：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター

〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

<http://www.sjc-takarazuka.or.jp>



ホームページはこちら